

幸手の自然とわたしたち

幸手小学校

失われつつある自然環境、そして、それらにふれる機会の減少。これらは、幸手市・本校児童においても例外ではありません。

そこで、3・4年生の総合的な学習を中心に幸手市の自然環境を調べる活動・自然にふれる活動・自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを知り、自然にふれることの楽しさを経験し、自然を守ろうとする姿勢を育もうと取り組んでいます。

▼3年生／「発見、たんけん、幸手じまん！」

活動の一つに権現堂桜堤にある池への稚魚の放流があります。NPO 法人幸手権現堂桜堤保存会のみなさんの協力を得て、実施しています。



▼4年生／「自然の中で学ぼう！」

《田んぼの妖精(ハウネンエビ)に会いましょう》と題した環境講座をさって市民環境ネットのみなさんの指導で実施しています。



そのほかにも、ひとり一鉢運動や学校ファームの開設など、全校で自然に向き合っている本校です。



第1回地域交流会(幸手看護専門学校)

5月17日(土)幸手看護専門学校で、地域のみなさんとの交流会が行われました。学校の状況や授業内容の説明を受けた後、施設の見学や各種体験コーナーを回りました。



とりかえっこ(子ども用品のリサイクル)

5月31日(土)ウェルス幸手で、とりかえっこを開催しました。子供服やおもちゃのとりかえっこのほか、抽選会も行われ、会場は多くのみなさんで賑わいました。



緊急時における応急対策活動への協力に関する協定

6月3日(火)幸手市防災安全協議会と「緊急時における応急対策活動への協力に関する協定」を締結しました。

公共施設の応急修理、道路交通確保のための障害の除去などについて、ご協力いただけることになりました。

燎原短歌会

葉桜の小^{おぐら}昏き木した

歩み来て

はつなつの風

光る早苗田

小澤六子・中二

まくらがの古河の

花桃咲く園に

長塚^{たかし}節の歌碑は

花びらを浴ぶ

喜多村和子・中五

軍刀は

切^{つま}れ味知るなく蔵^{しま}はれて

夫のヒロシマ

永久に鎮まる

新井佐和江・戸島

高須賀池に

巨体鯰釣られおり

震災三年

なぜ今ここに

大内田登久子・千塚

アシカショー

幼がデビユーす

ぎこちなくほのぼのとして

笑いを誘ふ

中村早苗・北一

「あ、ほたる」

友の指さす草むらに

光一すぢ引きて

また闇

竹園末子・中二